

Vol.19(2021) No.06(03/25)L05

COVID-19の入院患者でのトシリズマブ治療:臨床アウトカム,炎症マーカー動態,および安全性

[Tocilizumab in hospitalized patients with COVID-19: Clinical outcomes, inflammatory marker kinetics, and safety](#)

Hill JA, Menon MP, Dhanireddy S, et al.

【J Med Virol. 2021 Apr;93(4):2270-2280】-peer reviewed (査読済み)

(要旨)

◇方法

ワシントン大学病院に入院した酸素補充を要するCOVID-19患者を対象とし、後ろ向き研究を実施した。アウトカムは、臨床的改善(6ポイント順序尺度で重症度において2ポイントの改善,または退院と定義),および28日以内の死亡率等とした。傾向スコアによる逆確率重み付けを用いたCox比例ハザードモデルを使用して,トシリズマブ投与患者と非投与患者のアウトカムを比較した。

◇結果

トシリズマブ投与患者43人と非投与患者45人を評価した。トシリズマブ投与患者は非投与患者に比べ,年齢が若く,併存疾患が少なかったが,ベースラインの酸素要求度は高かった。トシリズマブ治療は,CRP(C反応性蛋白)値低下,フィブリノーゲン減少,および体温低下と関連していたが,臨床的改善までの時間[調整済みハザード比(aHR)0.92;95%信頼区間(CI)[0.38~2.22]],および死亡率(aHR 0.57;95%CI[0.21~1.52])に有意な差はみられなかった。トシリズマブ投与患者では,続発性の感染症,高トランスアミナーゼ血症(トランスアミナイティス),および血球減少症が発現する割合が数値的に高かった。

◇結論

トシリズマブは,COVID-19入院患者のアウトカムを改善しなかった。しかしながら,本研究は小さな差を検知する検出力に欠けるため,生存に関するベネフィットをもたらす可能性も残されている。